

2011 Japan National Team Report "player"



報告者	クラブ KMC横浜ジュニアヨットクラブ 学年 中2 氏名 高山颯太		
大会名	ICDA ASIAN OPTIMIST CHAMPION SHIP 2012		
開催地	スリランカ		
大会期間	6月2日 ~ 6月10日		
セールNo	JPN 3230	最終順位	30位

- 帰国後1ヶ月以内に、海外派遣担当 田中(mame-t@silverzaq.jp)までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述をしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼付して下さい
 2. 他国のOP艇を接見して撮影することを禁じます

気温、水温、ウエアについて	気温・30℃前後 水温・ぬるい ウエア・日焼け対策のため毎日 ラッシュガード・海パン・ハイアウトパンツ・ぼうし・サングラス・ブーツ
海面(湖面)の特徴や風の傾向	左右に20~30° 振れる風が続いた。ブローが見やすい。風が強くなると波が高くなる。風は毎日10m前後で強いブローで15mくらい。
セッティングで注意したこと	船をおこせるようにスプリットを抜いて。センターボードも上げた。スタート直後までは舳で負けないようにセンターボードは入れていた。
セーリングで注意したこと	スタートでは必ず一列目から出れるようにした。フレッシュウィンドを取るよう意識していた。ブローが入ったときに、オーバーヒールをしないように事前にハイアウトしていた。上マークまでに舳を0にしていた。
海上で練習したこと	フリー・

実際のスベリはどうでしたか？	フリーが他国の入よりも速かった。アビームはスプリットを抜きすぎた事もあり、スピードがあまりなかった。クローズは上り角度はあかだがブランチットに入ってしまったら、失速し、角度も落ちていった。
スタートは、どうでしたか？	1列目をキープしながら良いスタートが何本もできた。失敗したらすぐタックして、スターボ-の船の下をなめながらフレッシュの所に出るようにしていた。
コース戦略はどうでしたか？	真ん中よりも左目を走り、ポート-アプローチをしていた。最終レグではブローの入リ具合を見ながら決めていた。
自分より上位の選手との違いは？	スタートを絶対に失敗しない。振れにとっても敏感。セールトリム相手の下側でタックをしない、周りをよく見ている。
国内の練習で役立ったこと	フリーのポンピング・ポンピングした後のサーフィン・クローズでのあかきみ。
国内の練習で足りなかったこと	セールトリム・スタート直後のスピード・ゲートマークのどちらを回航するか。
印象に残った外国選手は？	SIN 33・SIN 44・SIN 118・SIN 5172・THA 222
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	クローズであかを上マークまでに入れなかったこと。フリーでサーフィンを長くできるようになった。
今後の課題と目標は？	強風の中でもしっかり風の振れを読めるようになる。セールを抜かなくても、セールトリムだけでしっかりおこせるようになりたい。
JODAへの要望	
その他	ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会